



名鉄病院 news letter

人に寄りそう 命と向き合う



令和元年 初夏号

眼科のご紹介 リハビリテーション科のご紹介 MRIバージョンアップで高速撮影も可能に

撮影:予防接種センター 谷口 恵



平成が終わり令和の時代が幕を開けました。平成の歴史を振り返ってみるとインターネットが産声をあげ、ブロードバンドからモバイルインターネットへと今や我々の生活になくてはならないツールになりました。そして令和の時代は「ディープラーニング」と呼ばれる革新的技術の登場によって、人工知能が物凄いスピードで進化を遂げていくのではないでしょうか。勿論、医療や介護でも今まで人が眼を使って行ってきた作業が人工知能で自動化されていく事になれば少子化時代のニーズとマッチした大きな変化が産まれてくる可能性は大きいと思います。しかし、人工知能では埋められない人と人の感情の繋がりを基にしたチームワーク力やコミュニケーション力、リーダーシップといった「人間力」が今以上に強く求められる時代になると思います。

今年度も研修医や新任医師、看護師など多くの有望な人材が名鉄病院に入りました。名鉄病院のキャッチフレーズである「人に寄りそう 命と向き合う」を第一に地域医療に取り組みます。今年度もどうかよろしくお願ひいたします。



名鉄病院
病院長
細井 延行





眼科のご紹介



■はじめに

名鉄病院眼科では、白内障・緑内障・糖尿病網膜症を中心とした様々な眼科疾患の診察・治療をしております。検査は、視力・眼圧・細隙灯検査・眼底検査をはじめ、視野・光干渉断層計(OCT)・網膜電図・蛍光眼底造影検査なども必要に応じておこなっております。手術は白内障・外眼部手術を中心に行っております。斜視・眼瞼・硝子体手術は名古屋大学医学部付属病院と連携をとって対応しております。



眼科では、散瞳薬を用いて眼底検査をすることが多いので、受診の際はご自身での車の運転は避けてください(散瞳後、5~6時間は運転ができません)。

■当科で診療する主な疾患

①白内障

視力が低下し、日常生活に不自由を感じる場合は手術を行います。入院で白内障手術を行っております。入院期間は片眼は1泊2日、両眼は3泊4日です。

②緑内障

視神経が障害され、視野(見える範囲)が狭くなる病気です。眼圧が正常なのに視神経が障害される「正常眼圧緑内障」も多く、緑内障全体の7割を占めております。健康診断で、「視神経乳頭陥凹拡大」「網膜神経線維層欠損」の記載があった場合、緑内障の疑いがありますので、眼科で検査・診察を受けてください。

③糖尿病網膜症

糖尿病による眼合併症は、腎症・神経障害とともに、三大合併症のひとつです。眼合併症には、糖尿病網膜症・糖尿病黄斑浮腫・血管新生緑内障などがあります。視力低下や失明の可能性もあり、中途失明原因の第2位です。かなり進行するまで無症状のことも多いので、眼症状がなくても定期的な眼科受診が必要です。糖尿病網膜症の進行程度により、蛍光眼底造影検査・レーザー治療・硝子体手術を行っております。

④網膜疾患

黄斑上膜・網膜剥離・網膜中心静脈閉塞症・中心性漿液性網脈絡膜症・黄斑変性・網膜色素変性症などの診断・治療を行っております。特殊な検査・治療を必要とする方は、名古屋大学医学部付属病院などと連携をとって対応しております。

⑤眼瞼下垂

上方の視野が狭く感じられたり、日常生活に不自由を感じる場合は手術を行います。(美容整形とは異なります)

⑥斜視・弱視

弱視は自覚症状がなく、3歳児検診、学校健診などで発見されます。眼の発達は低年齢であればあるほど良好なため、早期発見・早期治療が大切です。斜視は原因疾患の検索、治療を行っております。

■糖尿病眼合併症外来

糖尿病センターの開設に伴い、平成25年4月から「糖尿病眼合併症外来」を開設いたしました。

内科との連携を強化し、糖尿病による眼合併症の早期発見を目指しております。

毎週月曜 13時30分から(完全予約制) 担当医師:吉田統彦

リハビリテーション科のご紹介

リハビリテーション科は、入院患者さんの早期退院・社会復帰の実現の為、「リハビリテーションの充実」を目標に、業務の拡大を積極的に進めてきました。

現在は理学療法士 21名 作業療法士 7名 言語聴覚士 3名 計31名のスタッフが在籍しています。

充実したスタッフの人数により脳血管疾患、運動器、呼吸器、心大血管疾患、廃用症候群の急性期の疾患別リハビリテーションや、研修を受けたスタッフによる「がん患者リハビリテーション」にも対応できるようになりました。地域包括ケア病棟には専従の理学療法士を配置し、作業療法士、医療支援センターのスタッフ、病棟看護師と適宜カンファレンスを行い、情報を共有し在宅復帰に向けリハビリテーションを実施しています。

また、土曜・祝日は交代でスタッフが勤務し、より必要度の高い患者さんを中心にリハビリテーションを実施しています。

理学療法士は脳血管疾患、運動器、呼吸器、心大血管疾患の4つの疾患別リハビリテーションチームに分け、スタッフの育成と専門的に対応できるような体制をとっています。

作業療法士は理学療法士と同様に疾患別リハビリテーションに介入し、特に作業を焦点に当てた治療、指導、援助を行い、目的や価値を持つ生活行為の獲得を目指しています。また、DST(認知症サポートチーム)ラウンドに作業療法士が参加するようになり、各診療科で入院されている認知機能低下の患者さんに対し、よりよい医療や療養生活ができるようサポートしています。

言語聴覚士は、脳血管疾患による言語、嚥下障害に対しリハビリテーションを提供しています。また、脳卒中後遺症により嚥下障害がみられる患者様や、VE(内視鏡下嚥下機能検査)、VF(嚥下造影検査)により嚥下障害が認められた患者様に対して、看護師や栄養士と連携しながら、可能な限り食べる楽しみを得られるよう、積極的にリハビリを行っております。

外来の患者さんは、医師の判断で入院リハビリテーションから継続する場合、医師の外来診察にて必要と判断された場合にリハビリテーションを行います。主に整形外科の患者さんを中心に、脳神経内科、耳鼻科の患者さんがいます。そして2018年8月より入院から継続して外来通院で心臓リハビリテーションができるようになりました。

今後も地域の皆様から信頼される病院になるために、セラピスト間や他職種とのコミュニケーションを大切にしながら、質の高いリハビリテーションを提供していきます。



MRIバージョンアップで高速撮影も可能に

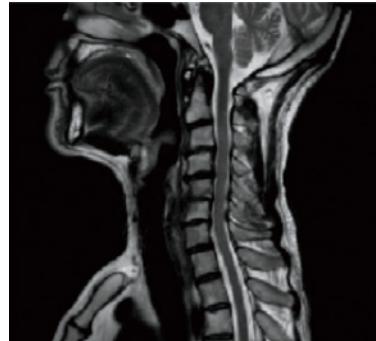
MRI室では、2018年11月より圧縮センシング(Compressed Sensing:CS)という高速撮影技術を用いた検査が可能になりました。

圧縮センシングとは、近年注目されている撮影技術で、JPEGのような画像圧縮の原理を応用した技術であり、ランダムにアンダーサンプリングされたデータから、残りのデータを推測して画像再構成を行うことで、撮影時間を大幅に短縮することができます。

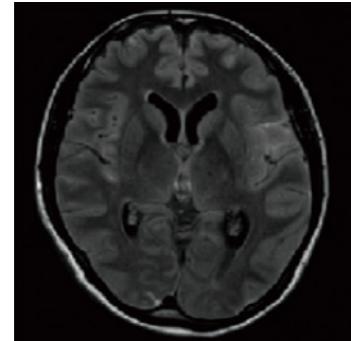
当院では、この技術を使用することにより、頭部・脊椎など多くの部位の検査で、画質を低下させることなく撮影時間を3割程度短縮させ、患者様の負担軽減や画質の向上、飛び入り検査の対応に努めています。



MRI装置 : Ingenia 1.5T



頸椎MRI T2強調画像



頭部MRI FLAIR画像

合同防火訓練を実施

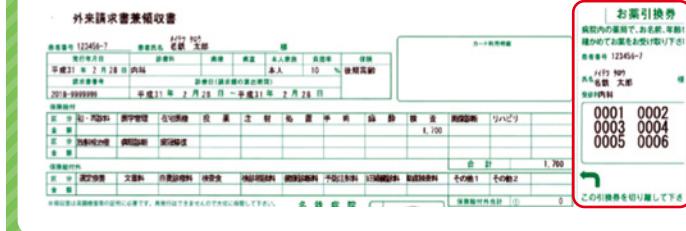
当院では、3月7日(木)1号館前ロータリーにおいて、名古屋市西消防署と合同で防火訓練を実施しました。

当日は、1号館5階から出火したとの想定のもと、対策本部を設置し、病院職員による119番通報、初期消火訓練を実施したほか、はしご車、消防隊の応援による実践的な避難誘導訓練を行いました。今後も、合同訓練の継続や救急搬送の積極的な受入を通じて消防署との連携を強化していきます。



自動精算機の更新

自動精算機が新しくなりました。クレジットカードの反応スピードや「領収書・お薬引換券」の発行が速くなりました。病院内でお薬を受取る場合のみ、1号館1階「お薬お渡し口」で、その「お薬引換券」と交換してください。



多言語案内

近年、増加傾向にある通訳の付き添わない外国人患者の対応のため、名鉄電車の中部国際空港駅などに導入している小型音声翻訳機の使用を当院でも始めました。持ち運べる小型音声翻訳機は、話しかけるとその場で直ぐ翻訳してくれますので、患者さんとのコミュニケーションに重宝しています。



新任医師 の ご紹介

総合内科
部長
森 弘 卓延



令和元年夏頃を目途に「透析センター」開設を目標として、4月より赴任してまいりました森弘と申します。開設にあたっては、皆様の御協力をお願いすることが多々あるかと思いますが何卒よろしく御願い申し上げます。

循環器内科
部長
岡本 理絵



4月から赴任いたしました。名鉄病院の充実した機能を最大限に生かせるような医療を提供できるように努力したいと思います。どんな些細なことでも構いませんのでお気軽にご相談ください。

消化器内科
医師
大塚 裕之



4月より赴任しました消化器内科の大塚と申します。消化器の中でも小腸や大腸といった下部消化管を専門としています。地域の皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

皮膚科
医師
奥村 真央



4月から赴任いたしました。頼もしいスタッフの皆さんに助けられ、患者様から教えていただくことも多く、有難さを実感しながら働いております。地域の皆様のお役に立てればと思います。よろしくお願ひいたします。

消化器内科
医師
松本 悠平



名古屋第一赤十字病院より研修で参りました、消化器内科の松本と申します。日赤とは違った環境で少しでも多くのことを学ばせて頂けたらと思っております。3ヶ月という短い期間ですがよろしくお願ひ致します。

整形外科
医師
山岡 尊成



4月より赴任して参りました山岡です。まだまたま不慣れなこともあります。迷惑をかけすることも多いかと存じ上げますが、地域の皆様のお役に立てるよう日々精進して参ります。宜しくお願ひいたします。

泌尿器科
医師
伊藤 有香



初期研修から引き続き、当院の泌尿器科で働きさせて頂けることとなり大変嬉しく思っております。なるべく早く皆様や患者さんのお力になれるよう日々精進して参りますので、よろしくお願ひ致します。

研修管理室
大岩 寛人



今年度より初期研修医としてお世話になる大岩寛人です。至らない点が多く、皆様にご迷惑をおかけすることがあると思いますが、日々勉強し、精進していきたいと思いますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ致します。

研修管理室
奥田 啓一朗



今年度から名鉄病院で研修させて頂きます、名古屋大学出身の奥田啓一朗です。初心を忘れず、患者さんに信頼される医師を目指して頑張ります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ致します。

研修管理室
上條 駿介



4月より初期研修医としてお世話になります、上條駿介と申します。至らぬ点もあり、ご迷惑をおかけすると思いますが、積極的かつ主体的に研修し誠心誠意頑張ります。ご指導ご鞭撻よろしくお願ひ致します。

研修管理室
高田 秀人



4月より研修医としてお世話になります。誠実で謙虚な気持ちと、積極的な姿勢で、できる限り多くのことを学びたいと思っております。至らない点も多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

研修管理室
田中 悠



本年度より初期研修医として働かせていただく、田中悠です。至らない点ばかりでご迷惑をおかけすることもあると思いますが、精一杯頑張ります。よろしくお願ひいたします。

研修管理室
等々力 崇仁



本年度より初期研修医として働かせて頂く、等々力崇仁と申します。まだまだ未熟者ですが、医師としても社会人としても成長できるように邁進したいと思っております。ご指導よろしくお願ひ致します。

新しい医療スタッフ のご紹介



4月に新入社員として看護師31名、薬剤師2名、診療放射線技師2名、臨床工学技士1名、視能訓練士1名が、期待と緊張が入り混じった面持ちで入職しました。仕事に関しては右も左も分からることばかりで教えていただくことばかりになりますが、一日でも早く戦力となるよう頑張ります。



健康によりレシピ

電子レンジで! 中華風アクアパッツァ

面倒に思いがちの魚料理ですが、切り身を使い、電子レンジで調理すれば、時短で手間いらずで失敗なし。

忙しいとお肉に偏りがちですが、健康のために週に一度は食べたい魚料理。緑黄色野菜の抗酸化ビタミンや食物繊維も同時に摂れ、栄養バランスに優れた1品です。

【材料(2人分)】

●鯛の切り身(サワラ、鮭、タラ等も可)	2切れ
A ●塩	少々
A ●しょうが(すりおろし)	小さじ1
●片栗粉	小さじ2
●白ねぎ(白い部分)	1本分
●しいたけ	4枚(60g)
●ぶなしめじ	1/2パック(50g)
●パプリカ(黄)	1/4個
●いんげん	50g
●ミニトマト	10個
●あさり(塩抜き済み)	10個
●しょうが、にんにく	各1片
●水	100ml
B ●オイスタークリーミースープ、酒、ごま油	各大さじ1



【作り方】

- 鯛はAをまぶして2~3分おく。その間に、白ねぎを斜め薄切り、しいたけを薄切り、パプリカを細切りにし、いんげんを食べやすい長さに切る。ミニトマトの皮に切り目を入れる。ぶなしめじは石づきを取って小房に分ける。鯛の水分をキッチンペーパーなどで取り、片栗粉を薄くまぶす。
- あさりは殻をこすり合わせるようにして洗う。しょうが、にんにくは薄切りにする。
- 大き目の耐熱皿に、白ねぎ、しょうが、にんにくを並べ、その上に鯛をのせる。さらにその上に、しいたけ、ぶなしめじ、パプリカ、いんげん、ミニトマト、あさりをのせる。Bをよく混ぜ合わせて回しかける。ラップをふんわりとかけて、電子レンジ(600W)で7~8分加熱する。
- あさりが開き、鯛全体の色が変わつたら取り出し、煮汁ごと器に盛り付ける。

行事食のご紹介

病院食では、時節に応じた行事食を提供しております。
今回は5月1日より、元号が「令和」となったため、新しい時代の幕開けを祝い、祝い膳を提供させていただきました。
「令和」には「人々が美しく心寄せ合う中で、文化が育つ」という意味が込められています。



名鉄病院

〒451-8511 名古屋市西区栄生 2-26-11
URL <http://www.meitetsu-hospital.jp/>
TEL 052-551-6121(代表)



経営主体

名古屋鉄道健康保険組合

病床数		
HCU	12床	
一般病床	321床(7:1看護)	
地域包括ケア病床	40床	
合計	373床	

診療科目

●内科	●循環器内科	●腎臓内科	●消化器内科	●呼吸器内科
●脳神経内科	●血液内科	●内分泌・代謝内科	●小児科	●外科
●消化器外科	●整形外科	●リハビリテーション科	●脳神経外科	●婦人科
●皮膚科	●泌尿器科	●女性泌尿器科	●耳鼻咽喉科	●眼科
●麻酔科	●放射線科	●病理診断科		

診療センター

●内視鏡センター	●認知症疾患医療センター	●糖尿病センター
●肝臓疾患センター	●関節鏡・スポーツ整形外科センター	●ウロギネセンター
●予防接種センター	●健診センター	

専門外来 ※予約制(一部を除く)

●禁煙外来	●リウマチ膠原病内科	●スポーツ内科(他院から紹介のみ)
●ASO外来	●ペースメーカー外来	●肝臓外来
●シルバーカリニック	●インスリン導入外来	●糖尿病眼合併症外来
●糖尿病透析予防外来	●フットケア外来	●乳児健診
●小児慢性疾患外来	●乳腺外来	●ストーマ外来
●関節鏡外来	●スポーツ外来	●脊椎外来
●小児整形外来(月1回・不定期)	●女性泌尿器科外来	●音声外来ほか



1号館前の名鉄病院駐車場について 平日7時~17時の利用で、来院お見舞いの方は割引サービスが可能です。1号館1階Aブロックか2階総合受付に、駐車券を事前に提示して割引認証を受けてください。また、病診連携専用の駐車場も用意しておりますので、詳しくは地域医療連携室までお問合せください。

病診連携・紹介状に関するお問い合わせは

地域医療連携室 TEL. 052-586-5755 FAX. 052-586-5756

本紙内容に関するお問い合わせは

事務部事務1課 TEL. 052-551-6299 FAX. 052-551-6711